

全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会2020 (プール)
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
 平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 さて、下記の通り「全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2020 (プール)」を開催いたします。
 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者(競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員)は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<プール競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに付随して、主催者・参加者がすべきこととしてチェックリストを公開していますので、ぜひご活用願います。併せて、各団体/クラブの指導者やコーチの皆様は、参加競技者への指導と説明をお願い致します。
 新型コロナウイルスの流行に対し、要項発表の時点では実施の方向で準備を進めていますが、今後、感染拡大の危険性、流行のピーク、開催地を管轄する都道府県及び自治体の方針などをふまえ開催中止も含め変更する場合があります。あらかじめご了承願います。

敬具

記

- 競技会名称 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2020 (プール)
 - 第7回全日本ジュニアライフセービング・プール競技選手権大会
 - 第7回全日本ユースライフセービング・プール競技選手権大会
 - 第2回全日本マスターズライフセービング・プール競技選手権大会
- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 日程 2021年2月13日(土)~14日(日)
- 会場 世田谷区総合運動場温水プール (東京都世田谷区大蔵 4-6-1)
- 後援(予定) 世田谷区、世田谷区教育委員会、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
- 助成(予定) 公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業
- 協力(予定) 東京都ライフセービング協会

■ 競技種目

【 小学生の部 】

[個人種目]

- | | |
|----|-------------------------------|
| 01 | 障害物スイム (50m) (小学1.2年女子) |
| 02 | 障害物スイム (50m) (小学1.2年男子) |
| 03 | 障害物スイム (50m) (小学3.4年女子) |
| 04 | 障害物スイム (50m) (小学3.4年男子) |
| 05 | 障害物スイム (50m) (小学5.6年女子) |
| 06 | 障害物スイム (50m) (小学5.6年男子) |
| 07 | ジュニアチューブスイム (50m) (小学1.2年女子) |
| 08 | ジュニアチューブスイム (50m) (小学1.2年男子) |
| 09 | レスキューチューブトウ (100m) (小学3.4年女子) |
| 10 | レスキューチューブトウ (100m) (小学3.4年男子) |
| 11 | レスキューチューブトウ (100m) (小学5.6年女子) |
| 12 | レスキューチューブトウ (100m) (小学5.6年男子) |

[チーム種目]

- | | |
|----|---|
| 13 | 障害物リレー (4×50m) (小学6年以下) *男女混合チーム可 |
| 14 | レスキューチューブリレー (4×50m) (小学6年以下) *男女混合チーム可 |

【 中学生の部 】

[個人種目]

- 15 障害物スイム (100m) (中学女子)
- 16 障害物スイム (100m) (中学男子)
- 17 マネキンキャリー (50m) (中学女子)
- 18 マネキンキャリー (50m) (中学男子)
- 19 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (中学女子)
- 20 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (中学男子)
- 21 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (中学女子)
- 22 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (中学男子)

[チーム種目]

- 23 ラインスロー (10m) (中学女子)
- 24 ラインスロー (10m) (中学男子) *男女混合チーム可
- 25 マネキンリレー (4×25m) (中学女子)
- 26 マネキンリレー (4×25m) (中学男子) *男女混合チーム可
- 27 障害物リレー (4×50m) (中学女子)
- 28 障害物リレー (4×50m) (中学男子) *男女混合チーム可
- 29 メドレーリレー (4×50m) (中学女子)
- 30 メドレーリレー (4×50m) (中学男子) *男女混合チーム可

【 高校生の部 】

[個人種目]

- 31 障害物スイム (100m) (高校女子)
- 32 障害物スイム (100m) (高校男子)
- 33 マネキンキャリー (50m) (高校女子)
- 34 マネキンキャリー (50m) (高校男子)
- 35 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (高校女子)
- 36 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (高校男子)
- 37 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (高校女子)
- 38 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (高校男子)

[チーム種目]

- 39 ラインスロー (12.5m) (高校女子)
- 40 ラインスロー (12.5m) (高校男子) *男女混合チーム可
- 41 マネキンリレー (4×25m) (高校女子)
- 42 マネキンリレー (4×25m) (高校男子) *男女混合チーム可
- 43 障害物リレー (4×50m) (高校女子)
- 44 障害物リレー (4×50m) (高校男子) *男女混合チーム可
- 45 メドレーリレー (4×50m) (高校女子)
- 46 メドレーリレー (4×50m) (高校男子) *男女混合チーム可

【 マスターズの部 】

[個人種目]

- 47 障害物スイム (100m) (マスターズ女子)
- 48 障害物スイム (100m) (マスターズ男子)
- 49 マネキンキャリー (50m) (マスターズ女子)
- 50 マネキンキャリー (50m) (マスターズ男子)
- 51 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (マスターズ女子)
- 52 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (マスターズ男子)
- 53 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (マスターズ女子)
- 54 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (マスターズ男子)

[チーム種目]

- 55 障害物リレー (4×50m) (マスターズ) *男女混合チーム可
- 56 メドレーリレー (4×50m) (マスターズ) *男女混合チーム可

- 小学生の部・中学生の部・高校生の部にエントリーする全ての競技者は、チームの責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、エントリーをすること。
- 全ての種目において、タイム決勝にて実施をする。

- [個人種目] 種目の登録数は競技者 1 人につき 2 種目を基本とする。3 種目以上に出場する場合は、追加参加費（1,000 円/1 種目）が必要となる（但し、チーム種目を除く）。
- [チーム種目] 小学生の部及びマスターズの部のチーム種目は、男女別を設けず男女混合のみとする。中学生の部および高校生の部のチーム種目は男女別での実施とするが、男子の種目に限り男女混合でのエントリーを認めるが、男子を少なくとも 1 人以上を含むこと。
- [チーム種目] 各団体／クラブからカテゴリ別にそれぞれ各 3 チームまでとする。但し、同一競技者が複数組に出場することは認められない。
- [チーム種目] 中学生の部における「ラインスロー（10m）」は、クロスバーの位置を「スタートする側のプールの端から 10m の地点」に変更して競技を行うこととする。

■ 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2020 年版>（2020.06.04 版）」及び競技会参加規程に則り実施をする。詳しくは競技会参加規程 7. を参照すること。

※競技ルールを十分に理解して出場すること。

■ タイムテーブル

別紙を参照すること。確定版は、申込締切・集計後に 2 次要項と共に公表する。

■ 募集概要／役職

以下の役職を対象とする。

- テクニカルオフィシャル
 任務：競技会運営及び競技における様々なジャッジの担当。
 資格：有効な認定審判員資格を保有し、本競技会に競技者として出場登録をしていない者。
- スタッフ
 任務：競技会運営及び進行に必要な業務の担当。

■ 参加条件（テクニカルオフィシャルに限る）

- 本協会が認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。
- 本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。
- 本協会が認定する BLS 資格を、申込締切期日までに取得していることを推奨とする。
- 申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2020 年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。
- テクニカルオフィシャル業務全般が支障なく遂行できること。
- 申込多数の場合は、参加団体／クラブから選出されたテクニカルオフィシャル、次に 2 日間参加できる者を優先する。また締切前であっても申込受付を終了する場合がある。
- テクニカルオフィシャルの担当役職及び配置は、競技会実行委員会にて決定をする。但し、役職及び配置に配慮が必要な場合は、事前に申告をすること（「その他連絡事項」欄に記入する）。
- 申込時、「役職経験」と「希望する役職」の申告を可能とする。但し、円滑な競技会運営の為、必ずしも希望通りの役職及び配置とはならない場合もある。

■ テクニカルオフィシャル・スタッフ会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する競技役員会議を、競技会期間中両日とも開催する。テクニカルオフィシャル及びスタッフは必ず出席をすること。詳細は 2 次要項にて公表する。

開催日時：2021 年 2 月 13 日（土）及び 2 月 14 日（日） 競技開始前（予定）

開催場所：競技会会場 競技役員控え室（予定）

■ 交通費（テクニカルオフィシャルに限る）

上限 5,000 円の実費精算とする。後日、申込者指定の金融機関口座へ振込にて支払いをする。

- チーム選出となる場合は精算の対象外とする。この場合は自己負担又は選出を依頼したチームが交通費を負担すること。
- 申込時に、自宅最寄駅と公共交通機関を記入すること。
- 自家用車等で来場する場合も、公共交通機関による運賃計算とする。
- 金融機関口座の口座番号等を間違えずに正確に入力すること。間違いにより送金できなかった場合の再送金にかかる振込手数料を差し引いての再送金とするため注意すること。
- 「三菱 UFJ 銀行」の口座を持っている場合は優先して記入すること。

- 入力（記載）する前に、必ず通帳やキャッシュカードの再確認をすること。
- 「ゆうちょ銀行」を指定する場合、以下のどちらかの組み合わせとなる。組み合わせや数字の桁数が間違っていないかどうか、再確認をすること。

(ア) ゆうちょ銀行専用	記号 (5桁) - 番号 (8桁)	※数字のみ
(イ) 他の銀行からの振込対応	店番 (3桁) - 口座番号 (6又は7桁)	※数字のみ

■ 日当（スタッフに限る）

一律 1,000 円/1 日の精算とする。後日、申込者指定の金融機関口座へ振込にて支払いをする。

- 金融機関口座の口座番号等を間違えずに正確に入力すること。間違いにより送金できなかった場合の再送金にかかる振込手数料を差し引いての再送金とするため注意すること。
- 「三菱 UFJ 銀行」の口座を持っている場合は優先して記入すること。
- 入力（記載）する前に、必ず通帳やキャッシュカードの再確認をすること。
- 「ゆうちょ銀行」を指定する場合、以下のどちらかの組み合わせとなる。組み合わせや数字の桁数が間違っていないかどうか、再確認をすること。

(ア) ゆうちょ銀行専用	記号 (5桁) - 番号 (8桁)	※数字のみ
(イ) 他の銀行からの振込対応	店番 (3桁) - 口座番号 (6又は7桁)	※数字のみ

■ 宿泊

宿泊手配及び提供は無しとする。必要な場合は各自で手配をすること。

■ 食事

競技会期間中の食事を提供する。

- テクニカルオフィシャル・スタッフ（共通）
 - ◇ 2021年2月13日(土) 昼食（会場）
 - ◇ 2021年2月14日(日) 昼食（会場）

■ ユニフォーム／服装

- テクニカルオフィシャル
 - ◇ 認定審判員ユニフォーム【審判員ユニフォーム上衣（ポロシャツ：白）、審判員ユニフォーム下衣（短パン）】、ライフセービング競技規則<2020年版>、室内用靴（靴底が白色で土足履きと区別したもの）、靴下、笛、筆記用具（ペン）、を各自で持参すること。サンダル等（クロックスサンダル含む）は不可とする。
 - ◇ マネキン設置担当は、水着、スイムキャップ、ゴーグル、ウェットスーツ、タッパー、ラッシュガード、フィン等を必ず持参すること（ウェットスーツ等を海で使用している物を持参する場合は、予め砂等を完全に落とすなど真水洗浄をしてからプールで着用すること）。
 - ◇ 競技会中の貴重品の管理は各自で行うこと。
 - ◇ 競技会中は両手の空くウエストポーチ等を活用すること。
 - ※2019年度より認定審判員ユニフォームの配布支給はしない。各自で購入手配するか、予め各団体／クラブや知人からの借用をする等において、用意すること。
- スタッフ
 - ◇ 総務関係（接遇係、広報係、催事係）の担当者は特に指定はしないが、接客を行うことが多くなるため、チノパン、ポロシャツ（白色、紺色又は黒色）、室内用靴（靴底が白色で土足履きと区別したもの）、靴下、などを各自で持参すること。
 - ◇ ウォーミングアッププールのライフガード担当者は、本協会指定のパトロールユニフォーム一式【パトロールキャップ、シャツ、短パン、水着】を各自で持参すること。
 - ◇ マネキン設置担当は、水着、スイムキャップ、ゴーグル、ウェットスーツ、タッパー、ラッシュガード、フィン等を必ず持参すること（ウェットスーツ等を海で使用している物を持参する場合は、予め砂等を完全に落とすなど真水洗浄をしてからプールで着用すること）。

■ 会場へのアクセス／駐車場について

世田谷区総合運動場温水プール

東京都世田谷区大蔵 4-6-1

<https://www.se-sports.or.jp/facility/sougou-p/>

- 極力、公共交通機関を利用すること。
- 会場隣接の有料駐車場は利用できるが、時間・台数に制限があるため注意すること。

- 絶対に違法駐車はしないこと。

■ キャンセルについて

競技者のエントリー状況などを考慮して、テクニカルオフィシャル及びスタッフを適正に配置しており、欠員が生じることで競技会運営全体に支障をきたすおそれがある。その為、申込後のキャンセルは極力避けること。やむを得ずキャンセルをする場合は、必ず代理の者を選出すること（但し、同競技会にテクニカルオフィシャルとしてエントリーをしている者以外からの選出とする）。

■ 情報発信

競技会専用の SNS を活用し、競技会関係各位へ 2 次的に情報提供をするため運用を行う。本競技会に限らず、国内の競技会全般の情報発信とする。

SNS 名称 : Facebook

アカウント名称 : JLA Lifesavingsport

<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport/>

■ 申込方法

各種要項等を必ず熟読し、以下の手順でエントリー作業を行うこと。申込先などの詳細は、別紙「エントリースケジュール（各種締切）」を必ず確認すること。

※様々なエントリー不備（期日までに各種登録が完了していない、メールアドレス入力間違い、など）が非常に多く発生しているため、ミスが無いように慎重に作業を進めること。

【オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」での作業】（テクニカルオフィシャルに限る）

- テクニカルオフィシャルは、自身の「資格登録」の 2020 年度登録を期日までに完了させること（登録申請を行い、期日までに登録費を支払う）。
- 資格登録費の支払いは「LIFESAVERS」システムに従い入金をする（競技者参加費受付の金融機関口座への振り込みではないので注意すること）。

【エントリーの作業】

- 『デジエントリー』より申込を進めること。
- 2 次要項の配信及びその他の情報発信は、全てメール配信にて行う為、「compe@jla.gr.jp」からのメール受信ができるように、端末（メールソフト、スマートフォン、など）の受信設定をすること。

■ その他

- 各役職、配置及び担当の詳細は、2 次要項にて案内する。
- 個人情報（氏名）は競技会プログラムに掲載される。同意の上で参加申込をすること。
- **【会場への入場制限について】**

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、競技会会場への入場は関係者（出場競技者、引率者 2 名まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとする。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場は控えること。

■ オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得し、管理ページにて保有資格等の確認と 2020 年度登録費（個人：資格登録や選手登録、団体：団体登録）の支払いを済ませること。各種登録は 1 年ごとである。なお、登録方法の手順や不明点は、「LIFESAVERS」の問い合わせフォームから問い合わせをすること。

<https://life-savers.jp/>



■ 保険について

大会参加規程のもとでの参加者（競技者、競技役員）は、以下の保険に加入している。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため、保険の対象とはならない（例：レース中、A 競技者のクラフトが B 競技者のクラフトにぶつかり B 競技者のクラフトが破損した）。

競技会期間中の場合は、競技会本部事務局に直ちに報告すること。

【傷害保険】

死亡保険金額	500万円
後遺障害保険金額	20万円～500万円
入院保険金額	3千円
手術保険金額	入院保険金額の5倍～10倍

※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

【個人賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物）	500万円
---------------	-------

※1 事故につき5千円の事故負担
※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

【団体賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物）	2億円
賠償責任保険（管理財物）	50万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50万円
事故対応費	500万円
見舞費用（死亡）	50万円
見舞費用（後遺障害）	2万円～50万円
見舞費用（入院）	2万円～10万円
見舞費用（通院）	1万円～5万円

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

■ お問い合わせ

公益財団法人日本ライフセービング協会事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階
TEL：03-3459-1445（対応時刻：平日12:00～18:00）
FAX：03-3459-1446
LIFESAVING SITE：<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/>